

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほっぶ和田		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日 ~ 2025年 1月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日 ~ 2025年 1月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 17日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性や状況に応じた支援計画の作成と、計画に沿った一貫した支援が行われていること	アセスメントに基づき放課後等デイサービス計画を作成し、職員間で内容を共有したうえで、日々の支援に反映している	引き続きモニタリングと振り返りを丁寧に行い、保護者の意向も踏まえながら計画の質の向上を図っていく
2	活動プログラムが固定化せず、こどもが楽しみながら参加できる工夫がされていること	5領域の偏りが出ないように活動内容や日程を調整し、こどもの希望や職員からの提案を取り入れながらプログラムを立案している	活動のねらいや目的をより分かりやすく整理し、職員・保護者への共有を進めていく
3	こどもが安心して通所でき、保護者との信頼関係が築かれていること	日々の様子を文章や口頭で丁寧に伝え、相談があれば柔軟に応じる姿勢を大切にしている	情報共有の方法を整理し、保護者がより安心して状況を把握できる体制づくりを進めていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の構造やスペース面に制約があり、十分な広さやバリアフリー対応が難しいこと	賃貸物件であることや建物構造上の制限により、物理的な改修が困難な状況がある	衝立や配置の工夫により個別スペースを確保するとともに、整理整頓を進め、安全で過ごしやすい環境づくりを継続していく
2	職員間での情報共有や振り返りの時間が十分に確保しにくいこと	勤務時間や勤務日が異なる職員が多く、全員が同時に集まる機会が限られている	記録や掲示、回覧の方法を見直し、短時間でも共通理解が図れる仕組みづくりを検討していく
3	地域交流や保護者同士の交流の機会が少ないこと	日常業務や人員体制の制約により、地域や保護者同士をつなぐ取組まで十分に手が回っていない	必要性や負担感を踏まえつつ、情報提供や小規模な関わりの場の検討など、無理のない形での取組を模索していく